

経営比較分析表（令和元年度決算）

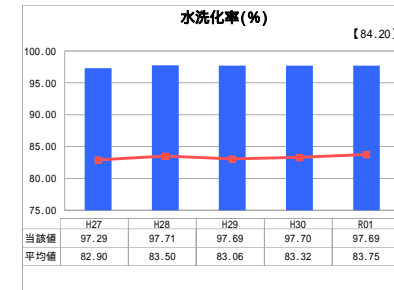
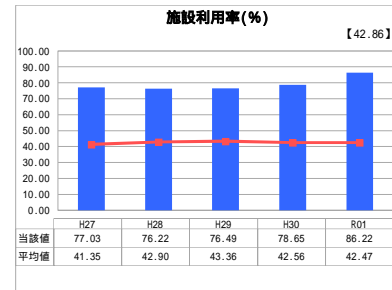
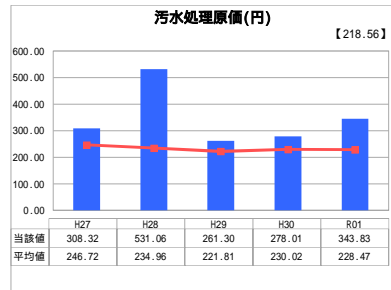
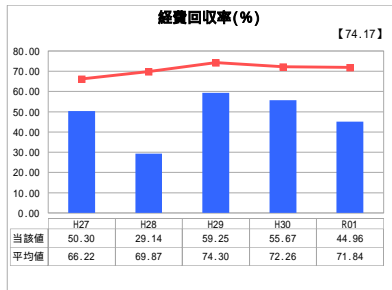
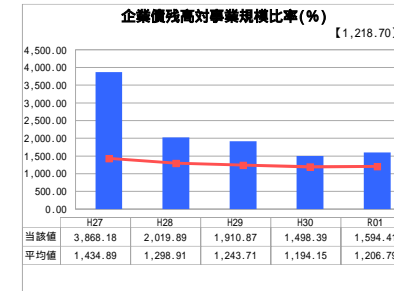
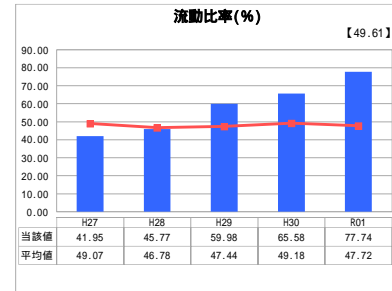
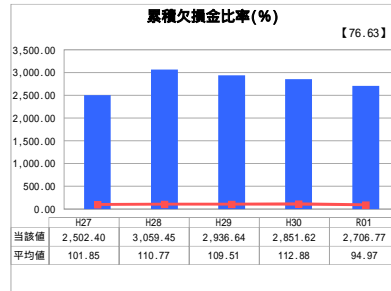
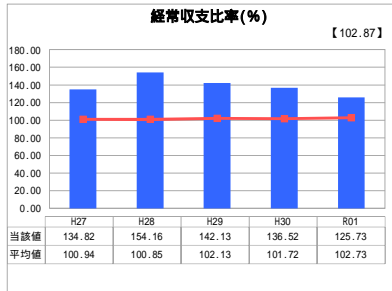
福島県 南相馬市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	46.05	1.17	49.05	2,673

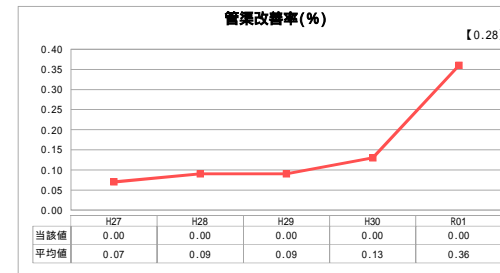
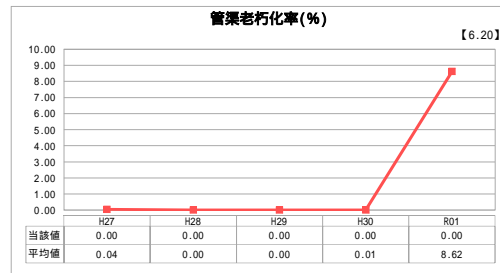
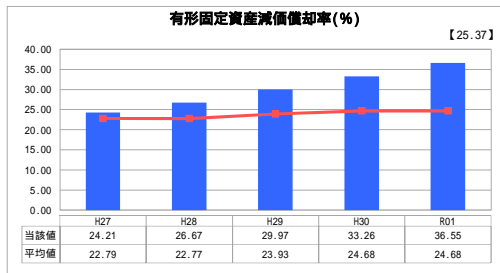
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
59,830	398.58	150.11
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
693	0.27	2,566.67

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率及び経費回収率
 経常収支比率については、平成24年度以降100%以上を維持しているが、経費回収率が類似団体平均値と比較すると低い数値となっている。これは資本費に係る他会計負担金によることが大きいため、適正な使用料の収入の確保が必要である。

累積欠損比率
 東日本大震災により、資産を大量に除却したことから高い水準となっている。平成28年度で被災管渠処分工事が完了したことから徐々に改善している。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率
 類似団体平均値より高い数値を示している。今後は施設の老朽化が進むことから、適切な更新工事が求められる。

管渠老朽化比率及び管渠改善率
 特定環境公共下水道事業は、平成3年に供用開始された事業であり老朽化は進んでいないため、管渠老朽化率及び管渠改善率は0%となっている。

しかし、当該地区は不明水が多く有収率も低い数値を示している。令和元年度に実施した不明水調査結果に基づき令和2年度に修繕工事を実施する。

全体総括

当市の特定環境保全公共下水道事業は、東日本大震災による津波被災によって2処理区の1つが流失しており、当初の財政想定と大きく状況が変化している。

今後は、人口減少により使用料収入が見込めないことから、維持管理の更なる効率化を図るとともに、他会計負担金や使用料収入などの財源確保を総合的に検討し、事業を安定的かつ継続して実施していくために、引き続き経営状況の改善に努める。

「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。